

## 2026年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年11月7日

上場会社名 株式会社 ホーブ  
コード番号 1382 URL <https://hob.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長  
配当支払開始予定日  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 0166-83-3555

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	315	3.3	55		54		53	
2025年6月期第1四半期	326	12.8	32		32		32	

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 53百万円 ( %) 2025年6月期第1四半期 32百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	70.75	
2025年6月期第1四半期	42.81	

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年6月期第1四半期	1,053	664	63.1	872.06
2025年6月期	1,069	756	70.7	992.86

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 664百万円 2025年6月期 756百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期		0.00		50.00	50.00
2026年6月期					
2026年6月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,331	4.6	32	8.6	32	11.3	25	14.2	33.97
通期	2,556	6.0	55	47.0	55	41.2	41	69.2	54.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年6月期1Q	762,000 株	2025年6月期	762,000 株
------------	-----------	----------	-----------

期末自己株式数

2026年6月期1Q	380 株	2025年6月期	351 株
------------	-------	----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2026年6月期1Q	761,639 株	2025年6月期1Q	761,682 株
------------	-----------	------------	-----------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気に緩やかな回復基調が見られるものの、ウクライナ情勢や中東情勢の緊迫をはじめとした不安定な国際情勢、アメリカの政策動向による国内経済への影響、世界的な資源価格の高騰や円安が大幅な物価上昇を招くなど、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、自社いちご品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録名「ペチカほのか」）を中心に、いちご果実及びその他青果物の販売に注力してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高315,426千円（前年同期比3.3%減少）、営業損失55,392千円（前年同期は営業損失32,630千円）、経常損失54,493千円（前年同期は経常損失32,005千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失53,887千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失32,608千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### （いちご果実・青果事業）

いちご果実・青果事業の主力商品は業務用いちご果実であります。当第1四半期連結累計期間におけるいちご果実販売は、主に自社品種「夏瑞／なつみずき」（品種登録名「ペチカほのか」）、「コア」（品種登録名「ペチカエバー」）と国産他品種、輸入いちごを併用しております。

自社品種については、主力産地である北海道の夏（6～8月）の気温が過去最高となるなど、長期間にわたり高温の影響を受けることとなりました。国産他品種も同様の傾向で、高温によりいちご果実の出荷量が急にピークを迎えたほか、品質の低下も招く結果となりました。また、出荷ピークを終えてからは大幅に出荷量が減少し、8月から9月下旬までは十分な販売量を確保することができませんでした。

出荷ピークを終えた後に早めに栽培株を休ませて成り疲れからの回復を促すなど、猛暑を想定した自社品種の栽培管理により9月下旬から出荷数量が増加したものの、それまでの減少分をカバーするには至りませんでした。

その他の青果物におきましては、大手取引先のアイテム削減等により使用量が減少し、売上高、利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

この結果、いちご果実・青果事業の売上高は275,352千円（前年同期比3.4%減少）、営業損失は1,632千円（前年同期は営業利益13,326千円）となりました。

#### （種苗事業）

種苗事業は、自社品種の「ペチカほのか」（商品名「夏瑞／なつみずき」）と「ペチカエバー」（商品名「コア」）の種苗を生産販売しております。栽培方法には、秋に苗を定植し翌年春から秋にかけて果実を生産する秋定植と、春に苗を定植し夏から秋にかけて果実を生産する春定植の、概ね2体系の作型があります。

当第1四半期連結累計期間におきましては、秋定植用苗を販売しております。一部の生産者が春定植に移行したことと、秋定植の生産者の減少もあり、種苗の販売本数が減少いたしました。

この結果、種苗事業の売上高は1,552千円（前年同期比30.8%減少）、営業損失は1,367千円（前年同期は営業損失1,310千円）となりました。

#### （馬鈴薯事業）

馬鈴薯事業は、主に種馬鈴薯の生産販売、仕入販売と、青果馬鈴薯の仕入販売からなります。主要売上品である種馬鈴薯には、秋から春にかけて販売する春作と夏に販売する秋作の2体系がありますが、そのメインは春作種馬鈴薯です。当第1四半期連結累計期間におきましては、主に秋作種馬鈴薯の販売を行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、種馬鈴薯の生産面積減少により供給が不足傾向となりましたが、仕入数量の確保に努め、売上高は前年同期を上回りました。利益は、仕入価格や輸送コストの上昇で前年同期を下回りました。

この結果、馬鈴薯事業の売上高は8,623千円（前年同期比25.5%増加）、営業損失は2,172千円（前年同期は営業損失2,088千円）となりました。

#### （運送事業）

運送事業は、株式会社エス・ロジスティックスが行っております。関東圏を中心とした事業展開で、当社の商品配送を中核として、一般荷主からの配送業務受託も行っております。当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は、一部配送の取り止めがあったことで前年同期を下回りました。それに伴い利益につきましても前年同期を下回ることとなりました。

この結果、運送事業の売上高は29,897千円（前年同期比6.7%減少）、営業損失は1,752千円（前年同期は営業利益1,565千円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して22,216千円減少し、当第1四半期連結会計期間末で914,349千円となりました。これは現金及び預金が増加したものの、売掛金が減少したことが主因であります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比較して5,938千円増加し、当第1四半期連結会計期間末で139,062千円となりました。これは機械装置及び運搬具が増加したことが主因であります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して74,544千円増加し、当第1四半期連結会計期間末で233,060千円となりました。これは未払法人税等が減少したものの、買掛金が増加したことが主因であります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比較して1,205千円増加し、当第1四半期連結会計期間末で156,171千円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比較して92,028千円減少し、664,179千円となりました。なお、自己資本比率は前連結会計年度末の70.7%から63.1%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年8月7日の「2025年6月期決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	306,105	636,794
売掛金	577,796	228,192
棚卸資産	44,760	41,191
その他	7,960	8,193
貸倒引当金	△56	△21
流動資産合計	936,566	914,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	34,751	33,738
機械装置及び運搬具(純額)	19,321	26,077
土地	37,400	37,400
その他(純額)	1,568	1,611
有形固定資産合計	93,041	98,826
投資その他の資産		
その他	40,082	40,235
投資その他の資産合計	40,082	40,235
固定資産合計	133,124	139,062
資産合計	1,069,690	1,053,411
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	91,811	164,699
1年内返済予定の長期借入金	4,016	3,017
未払法人税等	8,230	998
賞与引当金	—	6,495
その他	54,458	57,850
流動負債合計	158,516	233,060
固定負債		
退職給付に係る負債	49,644	49,724
役員退職慰労引当金	102,130	103,255
その他	3,192	3,192
固定負債合計	154,966	156,171
負債合計	313,482	389,232

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	421,250	421,250
資本剰余金	110,791	110,791
利益剰余金	224,626	132,656
自己株式	△459	△517
株主資本合計	756,207	664,179
純資産合計	756,207	664,179
負債純資産合計	1,069,690	1,053,411

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	326,108	315,426
売上原価	232,615	236,778
売上総利益	93,492	78,647
販売費及び一般管理費	126,122	134,040
営業損失(△)	△32,630	△55,392
営業外収益		
受取利息	39	468
助成金収入	247	250
その他	348	346
営業外収益合計	635	1,065
営業外費用		
支払利息	9	118
為替差損	—	47
営業外費用合計	9	165
経常損失(△)	△32,005	△54,493
特別利益		
固定資産売却益	454	1,025
特別利益合計	454	1,025
税金等調整前四半期純損失(△)	△31,550	△53,467
法人税等	1,058	419
四半期純損失(△)	△32,608	△53,887
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,608	△53,887



## (四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純損失(△)	△32,608	△53,887
四半期包括利益	△32,608	△53,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,608	△53,887
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	3,950千円	4,906千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自2024年7月1日 至2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
国内売上高	284,944	2,242	6,870	32,050	326,108	—	326,108
海外売上高	—	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる 収益	284,944	2,242	6,870	32,050	326,108	—	326,108
外部顧客への売上高	284,944	2,242	6,870	32,050	326,108	—	326,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	23,167	23,167	△23,167	—
計	284,944	2,242	6,870	55,217	349,275	△23,167	326,108
セグメント利益又は損失 (△)	13,326	△1,310	△2,088	1,565	11,493	△44,124	△32,630

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△44,124千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自2025年7月1日 至2025年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	いちご果 実・青果	種苗	馬鈴薯	運送			
売上高							
国内売上高	275,352	1,302	8,623	29,897	315,176	—	315,176
海外売上高	—	249	—	—	249	—	249
顧客との契約から生じる 収益	275,352	1,552	8,623	29,897	315,426	—	315,426
外部顧客への売上高	275,352	1,552	8,623	29,897	315,426	—	315,426
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	23,823	23,823	△23,823	—
計	275,352	1,552	8,623	53,721	339,250	△23,823	315,426
セグメント損失 (△)	△1,632	△1,367	△2,172	△1,752	△6,924	△48,467	△55,392

(注) 1. セグメント損失の調整額△48,467千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。